スリランカ訪問について（２０１７年6月２５日～２９日）

報告者：奥田　正明

JR・ジャワルデネ氏の親族の方とお会いすることが目的。

①ＪＲ・ジャワルデネ氏の遺族の方で話しの解かる方及び孫の方で国会議員の方がおられますとの事、できればお会いしたいです。

②生家及び学校が有ると聞いていますがその場所にも行きます。

③遺族の方と一緒に写真を撮りたいです。

④遺族の方を日本大阪に呼んでホテルでのイベントを開催し学校を建てる為の建設資金の一部にします。

⑤肖像権及びジャワルデネ氏の事を日本国内にて運動する事に許可を頂きたいので必ずお会いしたい。

※戦後日本が４分割になる事に対してサンフランシコ講和条約締結前に仏教の言葉を引用（Hatred ceases not　by Hatred but by love）

日本は4分割を免れました（日本政府及び国民を恩義を忘れず）絶えず感謝の気持ちでスリランカに恩返しが出来ないかを考えるべきである。

サンフランシスコ講和条約締結前に国連総会で演説をしておられる風景
中央前段で一人演壇におられるのがＪＲ・ジャルデネ元初代大統領です。
（１９５１年９月８日当時の第３次吉田内閣によって調印された）

1　国防大臣と大臣室にて面談、有意義な面談でした。

大臣室にて撮影

※１：左側白い服の方は国防大臣
※２：左後ろの方は通訳のファイザル氏
※３：右後ろの方は大臣
※４：右手前の方は農業大臣
※５：右手前２人目奥田正明

Ruwan Wijewardene (M.P.)
State Minister of Defence

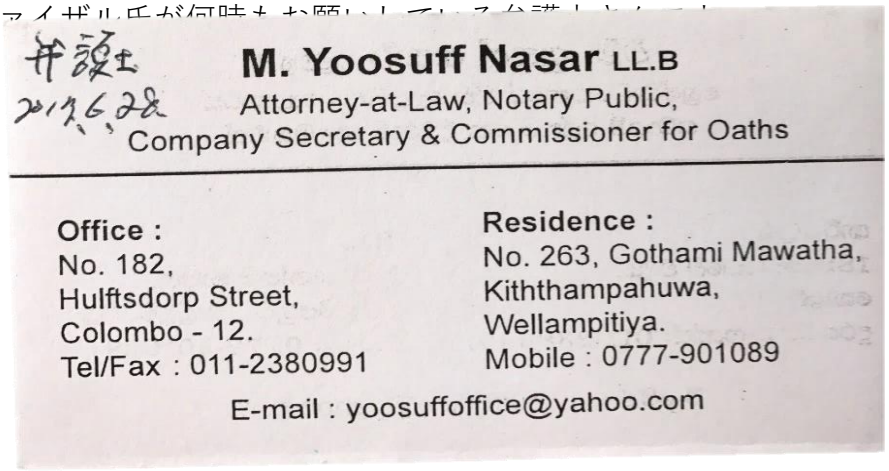
State Ministry of Defence
No. 15/5, Baladaksha Mawatha,
Colombo 03, Sri Lanka.
E-mail: Ruwanwjw@gmail.com

Telephone : +94 11 2394807
Fax : +94 11 2333340
Mobile : +94 77 7581151
: +94 77 3302100

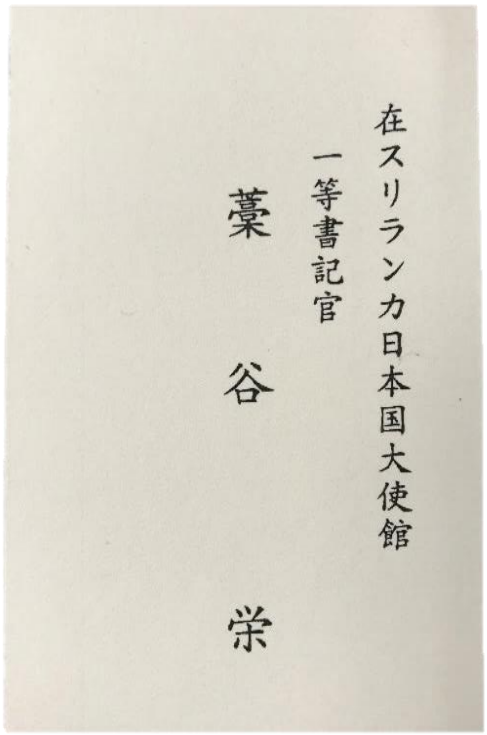
①ジャワルデネ氏の遺族を代表されている方がスリランカ政府の国防大臣されていました。
　大統領の次の大臣（№２）です。
前のページ②③④⑤の全てが叶いました。
※大統領との会見は次回になりました。
※僕の両サイドにおられる方も農業大臣と水産大臣です。
※日本から忍者の置物を持参してプレゼントしました。（高かった）

2　ＰＲＩＤＥ・ＳＬ設立するには。（弁護士も会ってきました）

①ＮＰＯ法人も設立できます（大臣の許可が有れば）
②費用は日本円で約２５万位かかります。
③慈善事業をする組織である為、民間企業からも寄付が集まるとの事。
④日本＆スリランカとの架け橋で民間事業のお手伝いもできます。
⑤その間で手数料は頂けます。
⑥運営はスリランカ人に任した方が上手く行くと思います。
⑦通訳のファイザル氏が何時もお願いしている弁護士さんです。

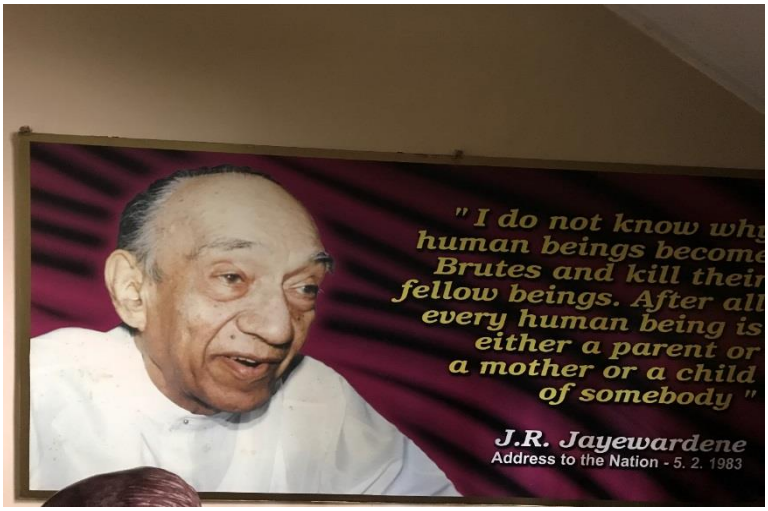


3　治安に付いて６月２８日アポなしでスリランカ日本大使館訪問



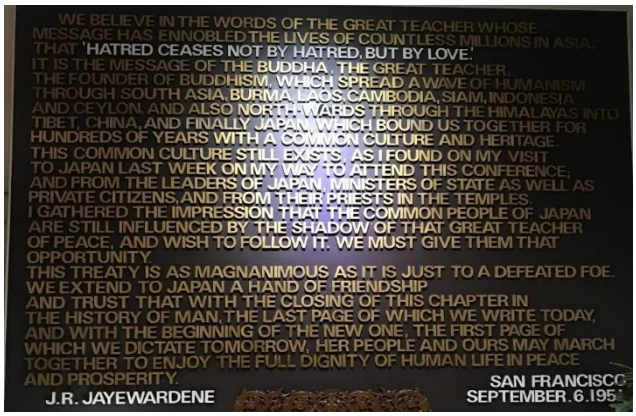
※１：対応はすごく親切でありました。
※２：北の方面は少し悪いですがコロンボは安全であると確認致しました。
※３：特に戦前から親日でありますが、最近の中国が大金をスリランカに賄賂攻勢で攻めた結果、今は中国からの投資に付いては中止しています。
※４：反面日本、米国、欧州に投資を呼びかけています。
※５：国民は穏やかで真面目です、但し雇用を生むだけの産業が発達していません。
※６：特に雇用を創出する企業は大歓迎です。

4　JR・JAWEVARUDENE氏の遺品を保管展示しているセンターです。場所は一等地です。
中を見学を致しましたが凄い展示品ばかりです。



※１；上はジャワルデネ氏生前の写真
※２：ジャワルデネセンターの前です。
※この場所は一等地に有ります。

ジャワルデネセンターの中に有る物、当時の机
をそのままの状態で保存しています。


WE BELIEVE IN THE WORDS OF THE GREAT TEACHER WHOSE
MESSAGE HAS ENNOBLED THE LIVES OF COUNTLESS MILLIONS IN ASIA,
THAT 'HATRED CEASES NOT BY HATRED, BUT BY LOVE'.
IT IS THE MESSAGE OF THE BUDDHA, THE GREAT TEACHER,
THE FOUNDER OF BUDDHISM, WHICH SPREAD A WAVE OF HUMANISM
THROUGH SOUTH ASIA, BURMA, LAOS, CAMBODIA, SIAM, INDONESIA
AND CEYLON, AND ALSO NORTHWARDS THROUGH THE HIMALAYAS INTO
TIBET, CHINA, AND FINALLY JAPAN, WHICH BOUND US TOGETHER FOR
HUNDREDS OF YEARS WITH A COMMON CULTURE AND HERITAGE.
THIS COMMON CULTURE STILL EXISTS, AS I FOUND ON MY VISIT
TO JAPAN LAST WEEK ON MY WAY TO ATTEND THIS CONFERENCE;
AND FROM THE LEADERS OF JAPAN, MINISTERS OF STATE AS WELL AS
PRIVATE CITIZENS, AND FROM THEIR PRIESTS IN THE TEMPLES.
I GATHERED THE IMPRESSION THAT THE COMMON PEOPLE OF JAPAN
ARE STILL INFLUENCED BY THE SHADOW OF THAT GREAT TEACHER
OF PEACE, AND WISH TO FOLLOW IT. WE MUST GIVE THEM THAT
OPPORTUNITY.
THIS TREATY IS AS MAGNANIMOUS AS IT IS JUST TO A DEFEATED FOE.
WE EXTEND TO JAPAN A HAND OF FRIENDSHIP
AND TRUST THAT WITH THE CLOSING OF THIS CHAPTER IN
THE HISTORY OF MAN, THE LAST PAGE OF WHICH WE WRITE TODAY,
AND WITH THE BEGINNING OF THE NEW ONE, THE FIRST PAGE OF
WHICH WE DICTATE TOMORROW, HER PEOPLE AND OURS MAY MARCH
TOGETHER TO ENJOY THE FULL DIGNITY OF HUMAN LIFE IN PEACE
AND PROSPERITY.
J.R. JAYEWARDENE
SAN FRANCISCO
SEPTEMBER.6.195

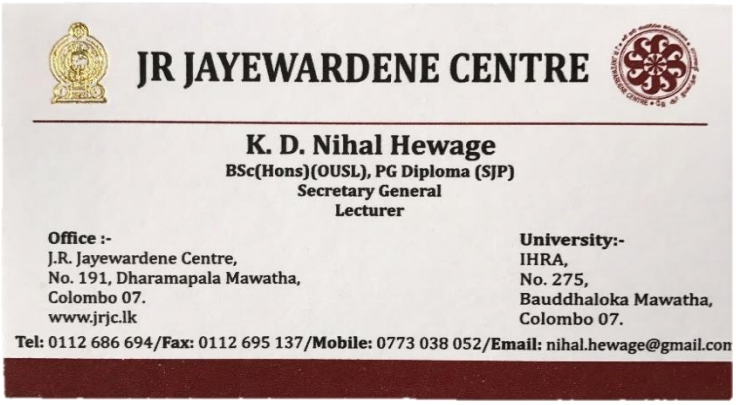
Hatred ceases not　by Hatred but by love
国連演説の時の原文です

当時のジャワルデネ氏と日本の首相
吉田茂氏です。

5　ジャワルデネセンターの裏庭（日本風のレストラン＆喫茶室）の改造依頼。

上の写真が裏庭の部分です。約１２０坪位（目測）は有ります。日本人の観光客及び地元の方が見学に来られますが休憩する場所及び食事する場所が有りません。

宿題１	①此の場所にレストラン及び喫茶店を作って欲しいとの事。 現地では偽の日本食堂がありますが、行って見たら全くダメでした。
	②条件は運営、建設等は全て日本持ち、但し地代として毎月納めて貰う事だけです。 聖地なので酒の提供はダメです。（そこは話しが出来るかもしれません）



※１：当センターの責任者です。
※２：コロンボ大学の教授です。
※３：当センターには学生のボランティアの方もおられます。
※４：当センターは入場無料ですが、日本でいゆうお布施の感じで気持ちだけお願いいたします。

センターが運営されている学校が３か所有ります。

宿題２	①勉学用品（靴、カバン、ノート、鉛筆、ボールペン、消しゴム、下敷き、筆記具入れ）等 ※日本から送れば高くつくので現金で渡します。（現地で発注＝雇用につながる） その間には現地のＮＰＯ等に依頼する。商品の贈呈式には日本側から行きます。
	②子供の学費を一年間援助するとか。

※：現在見積もりをして貰っています。

6　日本側からの提案（自立出来る職業専門学校の提案）

①対象年齢を１８以上からとします（低学年でもやる気のある若者）
②日本語の取得を大前提とする（その為に日本語学校又は学校で教育を受ける）
③農業学科（水耕栽培、畑栽培）　畜産学科（養鶏、鶏卵、養豚、牧場肉、牛乳）
　加工学科（チーズ、ハム等）　　水産学科（海水養殖、淡水養殖）
　ＩＴ学科（コンピュータ、パソコン、デザイン）等

7　漫画家育成専門学校の学科を開設をして卒業後は日本に研修に来る用にする。

理事長：
顧問：小池和夫、松本零士、麻生太郎（財務大臣）

※１：日本のＯＤＡを利用して新しい漫画教室が開設できます。
※２：現地の学校でアニメ、イラストレーター、漫画家等の育成コースを開設する。
※３：パワーポイントの資料で提案済み

8　農業、畜産等に関してのお願いが有りました。（下の名刺の方は農業大臣です）

※農林大臣です。

※１農業の件

※２養鶏の件

※３鶏卵の件

※４養豚の件

※５牧場（乳）

※６牧場（肉）

宿題３	**※１農業に付いての要望**
	①農業研修が出来る所が有りますか。
	②有るとしたら、宿泊、食事、給料等は有るんですか？
	③スリランカ人は寒いところはダメで関東から西の方面で探す。
	④期間は最低１～２年以上で場合によれば継続もできますか。
	⑤米はスリランカでも栽培できますが、効率の良い水耕栽培も学びたい。
	⑥米農家で野菜も栽培をしている農家が有ればもっと嬉しいです。

宿題４	**※２、３養鶏、鶏卵に付いての要望**
	①鶏は国内価格が安く、いかに上質肉をブランド化して早く出荷できるかを勉強したいです。
	②有るとしたら、宿泊、食事、給料等は有るんですか？
	③スリランカ人は寒いところはダメで関東から西の方面で探す。
	④期間は最低１～２年以上で場合によれば継続もできますか。

宿題５	**※４養豚について　（スリランカでは余り食べないですが外国人がよく食べます）**
	①有るとしたら、宿泊、食事、給料等は有るんですか？
	②スリランカ人は寒いところはダメで関東から西の方面で探す。
	③期間は最低１～２年以上で場合によれば継続もできますか。
	④加工食品としてならば海外にも輸出出来るためそんな養豚場は有りますか。

宿題６	**※５，６牧場（肉、乳）について　（最近スリランカは投資ブームで牛肉が良く売れます）**
	①有るとしたら、宿泊、食事、給料等は有るんですか？
	②スリランカ人は寒いところはダメで関東から西の方面で探す。
	③期間は最低１～２年以上で場合によれば継続もできますか。
	④加工食品としてならば海外にも輸出出来るためそんな牧場は有りますか。
	⑤養豚、牧場等の投資により雇用が創出され、また外貨獲得の道も開けます。
	⑥利益は持ち出せますが、出来ることなら現地での事業拡大に繋げて欲しい。
	⑦食肉加工をして隣国インドへの輸出が出来ます（関税は有りません） 又中近東にも輸出が出来ます。
	⑧国民は日本びいきで真面目な方が多い。若年層人口も多いです。

9　魅惑の国スリランカへスペシャル観光旅行(国連Ｐ.Ｒ.Ｉ.Ｄ.Ｅ日本企画)

★スリランカ（旧セイロン）民主社会主義共和国　【正式名称】
★首都：スリ・ジャワルダナブラコッテ（商業上はコロンボ）
★現在の大統領：マイトリーパーラ・シリセーナ大統領
★人口：２１００万人　★面積：北海道の８０％（６５．６０７平方ｋｍ）
★民族：シンハラ人７２．９％、タミル人１８％、ムーア人８％
★宗教：仏教徒７０％、ヒンドゥー教徒１０％、イスラム教徒８．５％、カトリック教徒１１％
★公用語：（シンハラ語、タミル語）、英語
★内戦：１９８３～２００９年 ２６年間　★植民地１５０５～１９４３年 ４４２年間
★世界遺産：８か所（歴史遺産と自然が織りなす像と風光明媚な秘境）

宿題7	**※募集人員：２０～３０名　※期間：１週間（往は朝出発で夕方着・復は夜出発で翌朝成田）**
	※旅行費用：検討中　　※９～１０月頃の予定
	※成田からスリランカ航空でコロンボ空港へ直行便（約９時間）（時差４時間３０分）
	※通常の観光では行けないコースを行きます。又国防大臣と記念撮影。
	※仏教国の為、寺院の僧呂様との記念撮影を致します。
	※アユルベーダーで一時を楽しんで頂きます。
	※ＪＲ・ジャワルデネ氏の遺品を保存している博物館が有ります。其処では日本人として当時を忍んで頂きます。（入場無料ですが、お布施の様な感じで気持ちでして下さい）

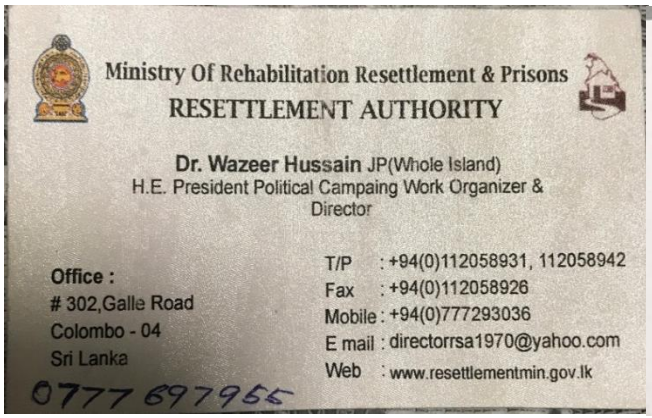
１０ コロンボ市内に有るゴミのボタ山の問題について

１１ コロンボ市内に有るゴミのボタ山の問題について

宿題8	①ゴミの量は約２００ｍ×１００ｍ×３０ｍ位
	②ゴミの質は家庭ゴミ、建設ゴミ等入り混じっています。
	③コンベヤーで選別する必要があります。
	④最終は炭化出来れば良い。

１２ スリランカでお世話になった方です。（有難うございました）

①凄い投資ブームで、今が一番良いと思います。（金融、ホテル、日本食堂、商業、車）
※特にコロンボ市内は、コンビニは全く有りません（日本のコンビニは一番だと思う）
②治安面に付いて日本大使館に行き一等書記官の藁谷栄氏会って北の方は少しだけ危険ですが、特にコロンボは全く問題は有りませんとの事でした。



現地で政府関係者をコディネートしてくれました。

通訳をしてくれました。コロンボ市内で宝石店経営日本とは親子３代４０年取引しています。

以　上